

セカンド・サロンえるだー 運営推進会議実施報告

開催日 令和⁸7年1月30日 14時～15時

会場 セカンド・サロンえるだー

出席者	有識者(認知症地域推進支援員)	1名
	コミュニティセンター	1名
	民生委員	1名
	地域包括支援センター	1名
	出雲市職員	1名
	事業所	1名

議題	現在の運営状況、先日の地震対応、小規模多機能と市の連携について、その他
----	-------------------------------------

内容①	ご利用者の介護度、疾病、通い・訪問・泊まりの状況について説明。 平均介護度3.2 ご利用者の入院や入所、或いは新規利用の開始等、入れ替わりが激しく経営が安定しない。別の小規模多機能から引き継いだケースがあるが、介護保険で出来る事を逸脱したサービスの実態や、本来利用されるべきサービスが不適切な現状で提供されていない等の現状があった。まずはご家族に以前と同じサービスは利用できない事の説明から入らねばならず、ハードルが上がったケース等を説明。
-----	--

内容②	1/6に起こった県東部を震源とする地震について、避難時の状態や、休まれていたご利用者への対応等を報告した。 いずれも大きな被害はなく（一部食器が棚から落ちる等の被害はあり）ご利用者も無事で安全に落ち着いて避難が出来た事をご報告した。
-----	--

内容③	〇出雲市内の小規模多機能の経営状態が極めて思わしくない状態が続いている。 この5年で、市内4つの小規模多機能が閉鎖する事態となっている（うち2つはこの半年の出来事）。理由としては【利用者がいない】【利用者がいても介護度が低く収益が低い】【介護職員がいない】事が主な理由であるが、極めて異常事態と言って良いと考えている。また当社も経営的には次に続く倒産の危機になっている。介護事業所の倒産が相次いでいる中で特に小規模多機能がなくなれば生活出来ない＝施設入所となるご利用者が多数出てくるのは必死と思われる。 小規模多機能の管理者が口をそろえて【新規の相談がない】と言ってくる現状がある。小規模多機能は通常他の事業所のケアマネや病院からの紹介で新規のご利用者を獲得するルートがあるが、それが難しい状況（居宅ケアマネも新規依頼がないと言っている）。 焼け石に水かも知れないが、通常調査員から居宅につなぐルートに小規模多機能も入れていただけないか市に依頼し、調査員等が空き状況をリアルタイムで見えるようにしていただくこととした。また調査員の中には小規模多機能がどんなシステムか分かっておられない方は多いことから、小規模部会各事業所から1例ずつ市にお渡しし各事業所の特色について知っていただくよう話をしている。
-----	---

委員から	Q小規模多機能のシステム（空き状況）は、包括支援センターでも見れるようになるか？ A通常のGH等と同じ扱いのシステムとなると思われる。包括からのご紹介も大事なルートなので、空き状況の開示はされると読んでいる。
------	--